

授業科目名		開講 年次	開講 期間	単位数	授業 形態
助産診断・技術論Ⅲ(褥婦と新生児の助産ケア)		1	前期	2	講義 30時間
担当教員	久保幸代、潮田千寿子				
授業概要	褥婦の生理的变化と新生児の母体外生活への適応と生理的变化、及び褥婦とその家族の心理社会的状況について、適切な技術を用いて情報収集、アセスメント、ケアの実践ができるための学習をする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 褥婦の生理的变化と新生児の母体外生活への適応と生理的变化、および褥婦とその家族の心理・社会的状況について理解する。 2. 褥婦と新生児の生理的状況、心理・社会的状況について情報収集、アセスメント技術を身につける。 3. 褥婦と新生児のアセスメントから必要なケアを立案することができる。 4. ハイリスクな状況にある褥婦と新生児のケアについて理解する。 5. 退院後の生活への適応に向けた母子とその家族への助産ケアについて理解する 				
履修条件	特になし				
授業計画	回	内容	担当教員		
	1	産褥経過と褥婦の身体的変化と助産ケア	久保		
	2	産褥経過と褥婦・家族の心理社会的状況と助産ケア	久保		
	3	ハイリスクな状況にある褥婦と助産ケア	久保		
	4	産褥期の助産診断(事例)	久保		
	5	産褥期の助産診断(事例)	久保		
	6	産褥期の助産診断(事例)	久保		
	7	母乳育児支援	久保		
	8	産褥期の保健指導	久保		
	9	出生直後の新生児の観察・新生児の経過と身体的変化	潮田		
	10	新生児の診察とスクリーニング	潮田		
	11	新生児期の助産診断(事例)	潮田		
	12	新生児期の助産診断(事例)	潮田		
	13	出生後1～4か月児の成長・発達と助産診断	潮田		
	14	ハイリスクな状況にある新生児と助産ケア	潮田		
15	死産を体験する家族(ペリネイタルロス)の支援	潮田			
教科書	特に指定なし				
参考書	テーマに沿って提示する。				
評価方法・基準	授業に対する準備状況や授業内の発言状況による評価(30%) 試験・レポートに対する成績(70%)				
事前・事後学習	事前学習：授業で提示された事前学習課題を調べる 事後学習：授業内容について復習し、理解を深める				
備考	特になし				